

スマホやゲーム、お宅のルールは？



最近の子どもたちは、①意思表示が苦手 ②意思の伝達が苦手 ③気遣いやわずらわしさからの逃避 ④話の聞き方が下手 などの傾向があるとされます。原因はいろいろと考えられますが、生活環境が変化したことが大きいと思われる。たとえば、同居する家族が少なくなり、相互のコミュニケーションが減少したこと、遊びが友だち同士というより、ゲームなどの機器が多くなったことがあげられます。

数年前、ある保護者から聞いた話です。友だち数人が遊びに来た。日頃は1人でゲームしかしないので喜んだが、部屋から子どもたちの声が聞こえてこない。心配してのぞくと、ゲームをする、漫画本を見る、お菓子を食べる、何もせずにボーッとしている……と1人1人がまったく別のことをしていたというのです。あまり人と関わらなくても生活が支障なくできるなど、便利な生活がそうさせているのかもしれませんが、ゾッとする光景です。自分中心の生活が当たり前という感覚が身に付いてしまうと、人を思いやる心や人のために奉仕する心が薄らぐのでは心配になります。

今やスマホは必須。日常に欠かせないアイテムとなりました。(H30所持率：小学生39.3%,中学生72.2%,高校生98.2%)ゲームやスマホの所持を否定はしません。大切なのは、成長に支障のない程度に楽しませることだと思います。それぞれのご家庭では、どのようなルールがあるでしょうか。

【子どもが納得するルールづくり】

大人から一方的にルールを押しつけるのではなく、使用する場所や時間について、大人と子どもと一緒に具体的に考える。

口1つ・耳2つ

新年度になって、さまざまな防災・防犯訓練をしました。その活動のまとめとして、子どもたちには「**毎日できる訓練、それは人の話をしっかり聞くこと**」と話しました。

ところで、人間にはどうして口が1つ、耳が2つついているのでしょうか。たぶん、多くの方は「そんなこと当たり前」と、少しも疑問を持たないのではないかと思います。じつは、私もそうでした。耳は「人の話や物音を聞くところ」、口は「食べ物を入れるところ、人と話す言葉を出すところ」、そのくらいの程度しか考えていませんでした。2つある理由なんて…。ところが、ある雑誌で、なるほどなあと心打たれる言葉に出会いました。

口は1つ、耳は2つ、

されば言うこと少なくして
多く聞くことよかりけり



そう！まずは聞くことなんだということ。私はこの言葉を何度も読みながら、改めて自分の顔を思い浮かべました。耳は外に開かれています。言葉は出ませんが、何か「聞き取ろう、聞き取ろう」としています。そのうえ片方だけではなく、きちんと左右に1こずつついています。公平に周囲の声や音を聞き取ろうとしています。しかし、口は1つ。それだけになお大切です。言葉は手に似ています。握りしめて人を殴ることもできるし、広げて人を抱きしめることもできます。

耳は謙虚に、そして公平に周囲の声を聞くために、口は人を思いやる言葉のためにこそ生かしたいものです。「相手の思いや言い分を十分に聞き取り、自分の主張はほどほどにする」そこに人間関係が丸く収まるコツがありそうです。神様から授かった「口1つ、耳2つ」をよく考え、日頃の自分を思案したいですね。

水と仲良く…

数年前、北海道の山林で行方不明になり、水だけで1週間を生き延びて、無事に保護された男児がいました。一方で、7月末から8月にかけて、水難事故により多くの小中学生が犠牲になっています。水は「**人の命を守る**」こともあれば、

「**人の命を奪う**」こともあります。水の力と恐ろしさを具体的に指導するこの時期、水泳学習に取り組んでいます。本年度は週1回、龍郷小の友だちと合同で練習に励んでいます。学年に応じた泳力を身に付け、体力の向上を目ざすとともに「**自分の命は自分で守る**」術を学ぶ大切な場でもあります。水と友だちになり、正しい泳法を身に付けましょう。

奄美にひそむエイリアン



アメリカハマグルマの駆除

コロナ禍により延期になっていた「子ども博物学士講座」に参加しました。今回は「奄美にひそむエイリアン」と題し、奄美群島に生息する外来種について学びました。外来種でまず思い出すのはマングース。駆除が進み、ここ3年間、生体は確認されていないようですが、「マングースは悪者かな？」講師の言葉に複雑な気持ちになりました。

7月の行事予定

日	曜	行事名等
1	木	水泳学習発表会 全体PTA
2	金	第1回学校評議員会 校区教育懇談会
6	火	巡回図書
9	金	着衣水泳(秋名小)
10	土	土曜授業日
16	金	児童集会
20	火	1学期終業式

